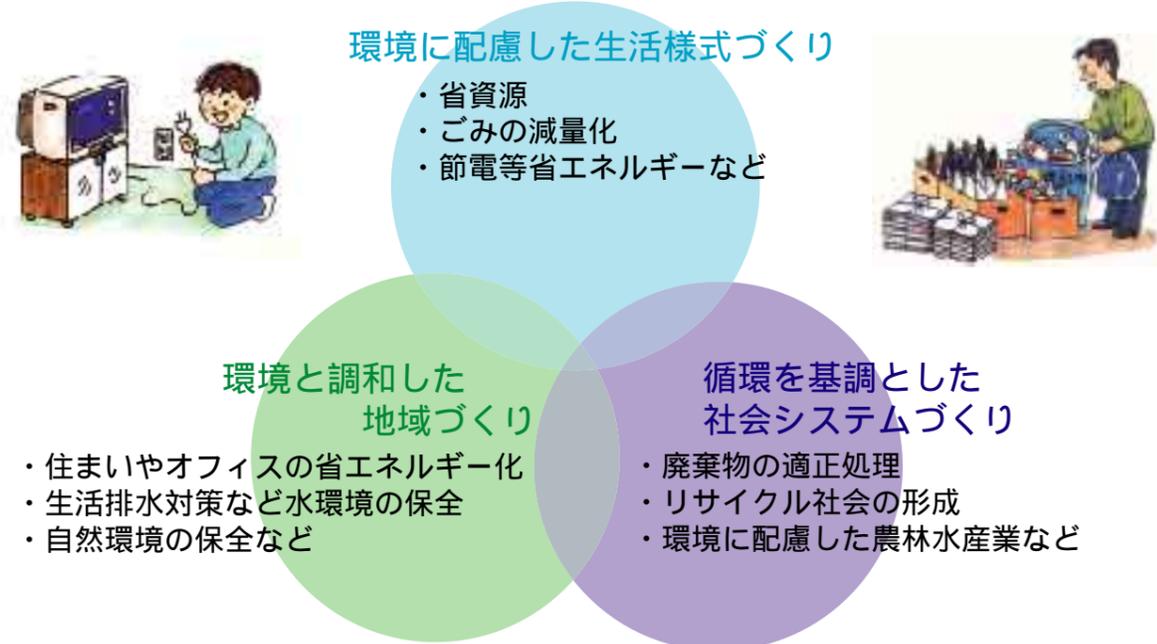


運動の内容

私たちが、日常生活や事業活動の中で身近にできることから取り組みます。



エコチャレンジ5

さあ、できることから始めよう!!

- 電気、水の10%削減にチャレンジ**
 - ・夏季の冷房温度は28以上、冬季の暖房温度は、20以下に設定します。
 - ・昼休みや終業時には支障のない限りOA機器や照明などの電源を切ります。
 - ・風呂の残り湯などを活用します。
- 燃料の10%削減にチャレンジ**
 - ・車で荷物の積み下ろしや人待ち時などは、アイドリングストップを実践します。
 - ・通勤や買物、レジャーには、できるだけ公共交通機関を利用します。
 - ・電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス自動車など低公害車や低燃料車を導入します。
 - ・湯沸器の口火はこまめに消します。
- 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ**
 - ・買物はマイバック持参でかけます。
 - ・簡易包装のものや詰替えのできる商品を選びます。
 - ・エコマーク商品やグリーンマーク商品を購入します。
 - ・空き缶やペットボトル等をポイ捨てしません。
- 川や海的环境保全にチャレンジ**
 - ・流し台のごみは、こまめに取り除きます。
 - ・使い古した天ぷら油などは、水に流さないようにします。
 - ・し尿と生活排水をあわせて処理できる合併処理浄化槽を設置します。
- 自然環境の保全にチャレンジ**
 - ・自然観察会などに参加し、野生生物や自然生態系への理解を深めます。
 - ・キャンプや登山など自然と触れ合う際には、空き缶などのごみを持ち帰ります。

環境家計簿が役場住民課保険衛生係にありますので、必要な方はお問合せください。

地球温暖化防止に向けて

地球にやさしい県民運動展開中

私たちの日常生活を通じて排出される二酸化炭素等の温室効果ガスが原因で、地球温暖化が急速に進んでいます。

このまま何もしないで放置すれば地球規模での環境破壊につながり、私たち人類をはじめ全ての生物の生存基盤さえ危うくなるのが懸念されています。そこで、私たちの日常生活や通常の事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など身近なところから、地球環境の保全のための具体的な実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的に、地球にやさしい県民運動を実施しています。

地球がたいへん!!

さらに熱くなる地球の気温

地球の気温は、20世紀の間に0.4 ~ 0.8 上昇しました。とりわけ1995年以降の高温傾向が顕著で、このまま進むと2100年には、1.4 ~ 5.8 上昇すると予測しています。

また鹿児島においても1970年代と1990年代を比較すると約1 上昇しています。

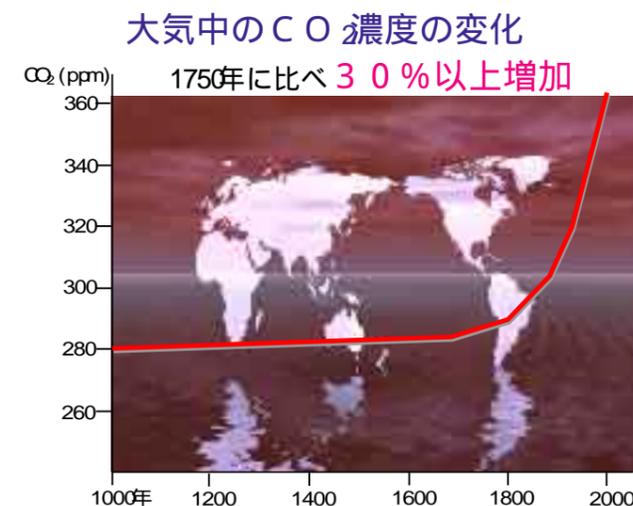
海面水位が上昇する

20世紀中に海面は10 ~ 20 cm 上昇しました。1990年から2100年の間に、主として海水の熱膨張と氷河などの融解により9 ~ 88 cm 上昇すると予測されています。

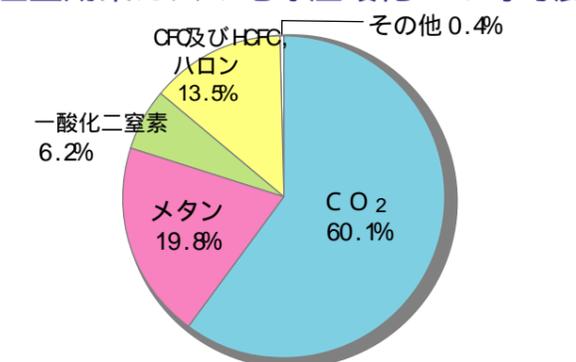
原因は温室効果ガスの濃度の増加

大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度は、1750年にはおよそ280 ppmでしたが、1998年にはすでに365 ppmと30%以上増加しています。

このままでは21世紀の終わりまでには540 ~ 970 ppm (1750年の1.9倍 ~ 3.5倍)になると予測されています。



温室効果ガスの地球温暖化への寄与度



温室効果ガス
地表から放射される赤外線を吸収し、温暖化の原因となる気体(CO₂、メタン、フロン類など)。温室効果の寄与度は種類や濃度によって違い、同じ濃度の場合CO₂を1とすると、メタンの温室効果はCO₂の約20倍、代替フロン類(HFCs、PFCs)は約数百から1万倍になる。